

謹賀新年 2019

最近、ツアラトウストラはかく語りき（キンドル版）を読了。学生時代にはぼくが薄っぺらのために理解できませんでした。ニーチェの父は牧師、母は牧師を父にもつ。そういう彼だから、キリストからの離脱に自らの存在を賭しえたのだと思います。そしてぼくは彼の思いを自分に引き寄せることができたように感じています。ぼくの父は熊本師範時代に出口王仁三郎に信奉して治安維持法で熊本市から京都市に連行、勾留されました。ぼくが生まれ育った亀岡の自宅は、大本事件裁判事務所のなれの果てでした。そういう父の歴史がやっと今、理解できたように思います。ぼくは造物主を持たない今の日本人の中では特に幸せだと熟々思います。神の重みを得てこそ、神否定の意味を感じ取ることができるのですから。2018.12.28

皆様のご健康とご多幸をお祈りいたします

ご連絡：小学校1年生から断続的ながら続けてきた年賀状ですが、古希を期に終了したいと思いました。年賀状離脱宣言が続きます。2018年の年賀状を眺めると、亡くなった方からの暖かい年賀もあり、想像力を掻き立てる家族写真など良いですねえ。敬愛する高齢の先生方からも届いているのにと、この耐久レース、離脱はもうしばらくは、止そうかと思っています。